

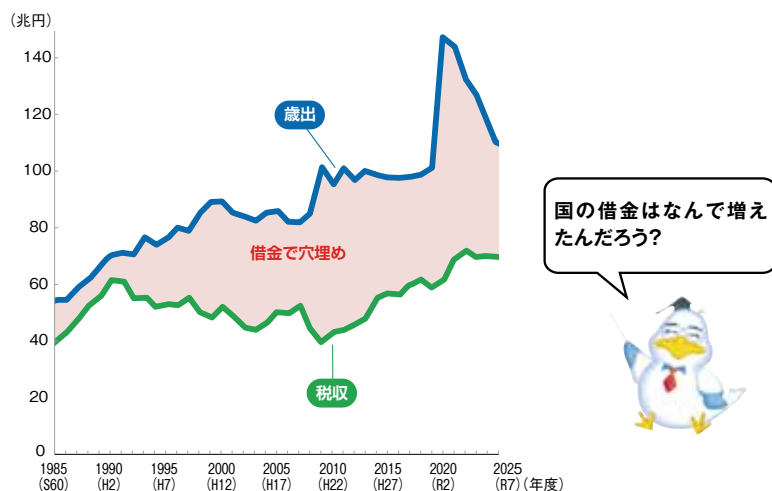
◆ 日本の財政の現状について考えてみよう

日本では、歳出が税収を上回る深刻な財政赤字が続き〔図1〕、公債（国民などからの借金）の発行残高が年々増加しています〔図2〕。国の令和7年度の予算では、一般会計歳入の24.9%、金額にして約29兆円を国債の発行による収入に頼っています。

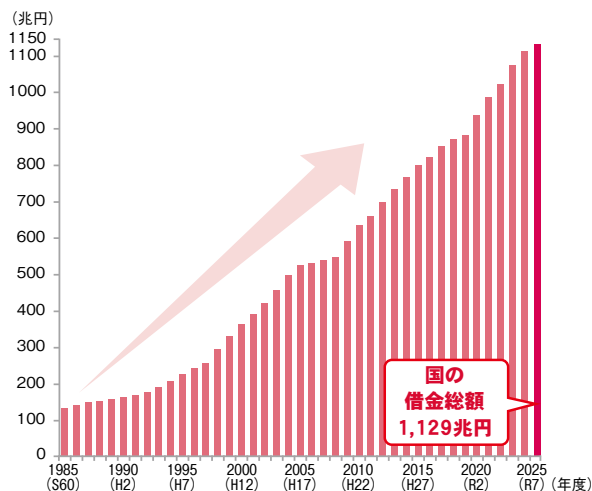
この国債は毎年発行されています。令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症に対応するため多額の予算が計上され、不足するお金を賄うための国債の発行額も増加しました。

令和7年度末には公債残高が1,129兆円にも膨れ上がると見込まれており、現在の国民だけでなく、将来の国民にとっても大きな負担となります。

〔図1〕 歳出と税収の推移



〔図2〕 国の借金総額の推移



※財務省「これからの日本のために財政を考える（令和6年10月）」、財務省主計局「我が国の財政事情 令和7年度予算政府案（令和6年12月）」をもとに作成

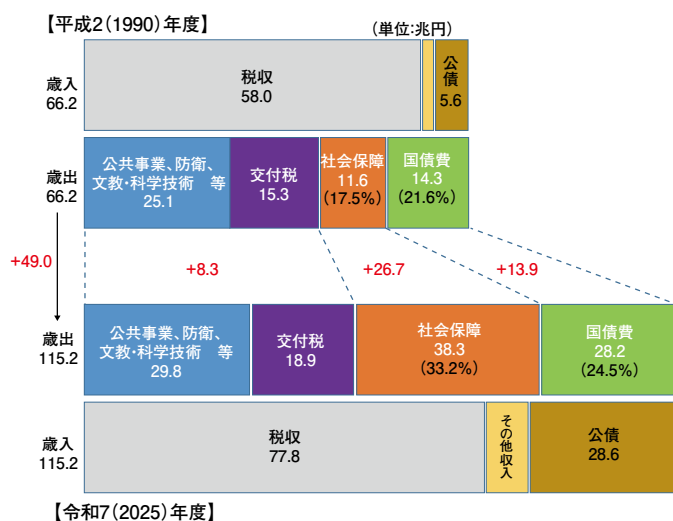
◆ わたしたちの将来と税について考えてみよう①

財政構造の変化と税負担

【ワーク】

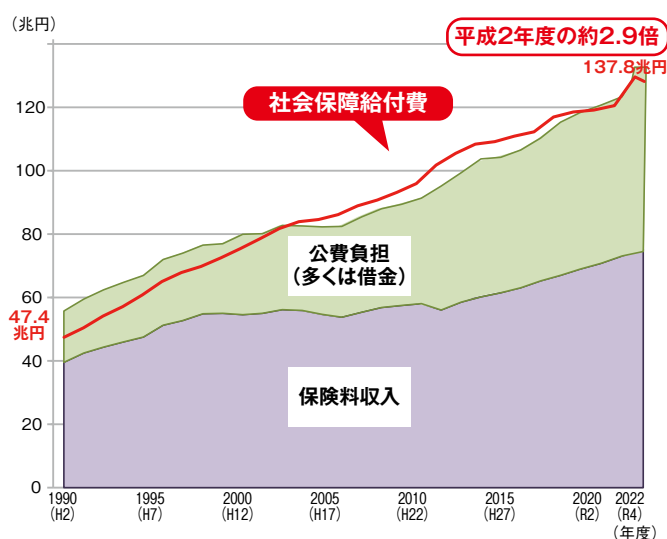
次の〔図3〕財政構造の変化・〔図4〕社会保障給付費の増加のグラフを読み取り、どのような課題に直面しているか考えてみましょう。

〔図3〕 財政構造の変化



※財務省「日本の財政関係資料（令和6年10月）」をもとに作成

〔図4〕 社会保障給付費の増加



【考察のヒント】

歳入・歳出の中で変化の大きい部分と小さい部分に着目してみよう〔図3〕。社会保障給付費の総額の変化はもちろん、給付費と保険料収入との関係など細かな変化にも着目してみよう〔図4〕。